

ふれあいの並木道「なぎさへの道」^{みち}

山口県の光市は、周南工業地帯の中
にあり、新興工業都市として着実な歩
みを続けているが、一方では、中国地
方随一の海水浴場として有名である室
積・虹ヶ浜海岸を有している。

これは、室積湾を抱くように南に伸
びる峨眉山一帯の北に連なる白砂青松
の海岸で、瀬戸内海国立公園特別指定
区域になっており、県内はもとより県
外からの海水浴客も多く、年間80万人
もの人々に利用されている。

この「なぎさへの道」は光市アメニ
ティ・タウン構想の一環として、すで
に供用された街路をJR西日本光駅から
虹ヶ浜海岸へのアクセス道路と位置づ
け、周辺の自然公園と一体的に整備を
行ったものであり、市民の憩いの場、
四季を通じてのコミュニティの場とな
るよう「潤い」や「やすらぎ」などを
主眼に都市景観やゆとりに特に配慮し
ている。



- 所在地 山口県光市虹ヶ浜
諸元 延長：310m、
幅員：20m
(車道9m、歩道
5.5m×2)
材料 車道：アスファルト舗装、
歩道：インターロッキング、
タイル舗装